

## 2. 産業界における ITS の広がり

本年度はITSの新しい領域にチャレンジに取り組んでいる企業に日本の事例と海外事例についてご紹介いただいた。執筆は、ITSの活動に多大な関与を頂いている常任理事企業（12社:五十音順）に具体的な国内事例を挙げていただいた。

また、「2012年度第3回ITS Japan コミュニティプラザ」や「第7回日本ITS推進フォーラム」でご講演いただき好評を博した会員企業にも、講演内容を基にご執筆いただいた。ITSの新しい領域への取り組みは、気象情報サービスを提供する会社や高速通信（LTE）を提供する通信会社にも広がりを見せているほか、グローバルにトータルソリューション事業を展開している企業も取り組んでおり、海外事例として紹介いただいた。以下に各企業からの事例一覧表を示す。

図表4-1 各企業からの事例一覧表

	会社名	テーマ	掲載頁
日本の事例	沖電気工業（株）	車車間通信システムの展開に向けた開発事例	P. 154
	住友電気工業（株）	スマートフォンで広がるテレマティクス	P. 155
	（株）デンソー	・HEMSと連携したEV・PHV用相互電力供給システム「Vehicle to Home (V2H)」 ・ヘッドアップディスプレイ（HUD）～いつもの安心・もしもの安全を提供する表示装置～	P. 156
	（株）東芝	これからの社会に向けた統合交通システム（Integrated Transport Solution）	P. 157
	トヨタ自動車（株）	スマートモビリティ社会実現へ向けた取り組み ～協調型ITSの進化とクルマとITSの新しい付加価値～	P. 158
	日本電気（株）	安心安全を実現する路車・車車間通信システム ～CAR-2-Xコミュニケーション～	P. 159
	日産自動車（株）	2人乗り超小型モビリティ（原付自転車以上、軽自動車未満） 「NISSAN New Mobility Concept」	P. 160
	パナソニック（株）	カーナビゲーション連動スマートフォン用アプリ「おでかけナビサポート こいこい」	P. 161
	（株）日立製作所	EVレンタカー向けクラウド型充電管理システム	P. 162
	富士通（株）	ビッグデータ時代の位置情報を活用したクラウドサービス	P. 163
	本田技研工業（株）	情報通信で人と車がつながる、エネルギーで車と家庭と社会がつながる	P. 164
	三菱電機（株）	ITSによるスマートコミュニティの実現に向けて ～電気自動車を用いたスマートグリッド実証実験システムのご紹介～	P. 165

日本の事例	※1（株）ウェザーニューズ	参加型、やわらか頭で変わる気象サービスとITS	P. 166
	※1 エリクソン・ジャパン（株）	携帯電話網を利用したITS ～ITSスポットと携帯電話網の連携に関する走行実験～	P. 167

※1は、「2012年度第3回ITS Japan コミュニティプラザ」で講演いただいた内容

海外の事例	※2 日本アイ・ビー・エム（株）	低炭素モビリティ／都市交通領域から9つのグローバル先端事例の概要紹介	P. 169
		①マルチモーダルでの移動 ～公共交通と低炭素モビリティを融合したシームレスな Smarter Mobilityソリューション（Lyon-Optimod project）	P. 169
		②リアルタイム交通情報システム ～低コスト・短期間での実現モデル（カンザス市他 パイロット）	
		③リアルタイム交通情報システム（Smart-in-Car） ～車のCAN情報を利活用した安心・安全サービス（オランダEindhovenパイロット）	
		④スマートな移動のパーソナルサービス ～Smarter Traveler™（Californiaパイロット）	P. 170
		⑤スマートなパーキング・サービス ～市街地全体のスマート化につながる統合型パーキングサービス（ニューヨーク市他）	
		⑥渋滞課金システム ～本格運用のリファレンス・モデル（ストックホルム市）	
		⑦走行距離課金システム ～走行距離税の先進的な導入試験（オランダEindhovenトライアル）	P. 171
		⑧シティー・オペレーション・センター ～レジリエントな都市実現に向けた統合危機管理センター（Rio de Janeiro）	
⑨スマートグリッドと電気自動車（EV）の連携（V2G） ～EDISONプロジェクト（デンマーク・ボーンホルム島パイロット）			

※2は、「第7回日本ITS推進フォーラム」で講演いただいた内容